日本共産党の地域新聞　発行所：日本共産党夕張市委員会　夕張市千代田２番地の２　TEL &FAX　52-3097　　2012年11月４日（日）1439号

民報 ゆうばり

憲法番外地に？　安保が憲法の重石？

この国に生まれてよかったと思える国に！共産党演説会

原発・TPP・社会保障・憲法の危機！国民の望む政治をつくろう！

10月29日、札幌ニトリ文化会館において、日本共産党演説会が開催され、二千人が参加しました。

◆　◆　◆　◆

＝福島・沖縄・原発＝問われる歴史的な選挙

最初に主催者の党北海道委員会の西野委員長より「今日から臨時国会で進展によっては解散総選挙。沖縄の苦しみ、福島の苦しみ、今後の原発が問われる歴史的な選挙になる。すべての小選挙区に候補を立てた。皆さんの大きな応援を。」とあいさがありました。

復興予算の9割流用　暮らしのめどが立たず

紙智子参議院議員が「今日から臨時国会。復興予算の9割もの流用で被災地の生活のめどが立たない。国会の審議の場で堂々と論議し、国民の信を問うべき」等のお話しです。

消費税増税とんでもない

各小選挙区予定候補からの決意表明で、木村けんじ10区予定候補は、「消費税増税はとんでもない！というのが共通の声。尋常ならざる決意でたちむかう」と気迫をこめて訴えました。

ストップ！TPP・原発　自然エネルギーで雇用を

はたやま和也政策委員長は、「自民・公明の構造改革で、庶民の暮らしは大変になった。政権交代後、民主党になっても何一つ変わらない。消費税増税は民・自・公の三党で決めた。TPPに反対して、跡継ぎが農家をできるようにしてほしいという痛切な声。北電のやらせ内部告発は、原発マネーにまみれていない共産党を信頼して寄せられた。道内企業が輸入している1億8千万円の重油を木質チップに換えたら、1億の金が地域に回る。北海道の大自然、再生可能な自然エネルギーで雇用もつくれる。中標津では国保料の値上げが提案されたが、積み立ての基金四億円をとりくずして値上げ反対の署名に取り組み、選挙で前回の1．5倍の得票で当選させた。住民から『根拠のある話が大事』と喜ばれた。ぜひとも国会へ送っていただき、働かせていただきたい。」と話しました。

消費税増税は大企業のもうけ

最後に、小池晃党政策委員長が「希望の持てる日本をつくりたい。民主・自民・公明が談合してつくった消費税増税法案。増税したほうが大企業には儲かる仕組み。選挙で勝てば、増税は不可能になる。

思いやり予算は被災地復興に！

思いやり予算は、米軍より被災地へ。政党助成金も被災地へ。“超大金持ちに富裕税を”が先進国の常識。上空にはオスプレイ、陸上には米兵―日本中が憲法番外地になっていないか。

日本中が憲法番外地！安保が憲法の上で重石に！

安保が憲法の上で重石になっていないか。一刻も早く解散して、国民の信を問えと言いたい。

日本中に放射能がばらまかれ、だれも処分できない核廃棄物が増え続ける日本。

大間原発は50キロ圏内に38万人の道民が住んでいる。脱原発は国民の大多数の声。北海道の自然再生エネルギーで、原発の10倍以上のエネルギーがつくれ、雇用が生まれる。

どうしたら原発の危機を逃れられるか。

国民の望んでいる政治をつくり出していくために、即戦力の畠山さんに、ぜひ早く国会での論戦の先頭に立ってもらいたい。」と締めくくりました。

木村予定候補・熊谷市議訴え

「消費税増税実施阻止」に手を振る市民

＝南空知女性キャラバン＝

日本共産党南空知地区の女性でつくるキャラバン隊員が10月22日、宣伝カーで夕張を訪れ、先の国会で強行採決された消費税増税の実施阻止など、生活を守るたたかいを押し進めましょうと訴えるとベランダから大きく手をふっている市民の姿も見られました。

木村予定候補も同行し、党利党略の駆け引きでいっこうに進まない東日本大震災の復旧復興についての支援対策促進や原発再稼動をもくろむ推進派の野望を阻止

（2ページへ続く）

（1ページから続く）

するために頑張っていることを話しました。

また、北電が冬を前に電力不足を誇張し、泊原発の再稼動をねらっていることなど詳しくとりあげ、「実際には北電以外の電源を活用することで48万キロワットの余裕があり、電力会社のいいなりになっている国の政策にも問題がある」と指摘しました。

さらに、「消費税について法案は成立したが実施まで２年ある。国民の70％が反対しているということは選挙の争点になり、議会で多数を得ることで阻止できることだ、展望を持って頑張りましょう」と力を込めて訴えました。

共産党後援会末広支部

出足早く行動開始

９月から始まった街頭宣伝行動と合わせ居住地域への署名行動が25日、紅葉山地域で取り組まれました。

後援会末広支部の会員は誘い合わせて４名で参加、消費税反対と原発即時撤退の署名用紙をもって、市営住宅を１軒ずつたずね署名を集めました。参加者中最高齢の88歳になる男性は「チラシをくばるだけでも」と頑張っていました。

予定終了後も紅葉山地域の知り合いを訪ね、署名や支持を訴えて回りました。

また、末広の常設掲示板や居住地域周辺に最新のポスターを貼りだし、地域の市民に共産党の政策を知らせる取り組みを展開しています。

＝第55回音楽発表会＝

多彩で楽しい発表に大きな拍手！

第55回音楽発表会が、10月22日、文化スポーツセンターで開かれました。この発表会は、昨年から夕張音楽協会との共催で行われてきました。今年は、小中高生の歌や器楽発表、市内の各グループのコーラス、DVD鑑賞などに加え、ユーパロ幼稚園の元気でかわいい発表も加わり、多彩で楽しい発表会となりました。

それぞれの発表に対し、参加者や大勢の観客から大きな拍手が送られていました。

元気に歌うユーパロ幼稚園の子どもたち

国会「かけある記」

日本共産党　参議院議員

紙　智子

「ダム凍結計画がまた動き出す」

平取ダム建設予定地の視察に真下紀子道議、花井やす子九区国政事務所長らとともに行きました。二風谷ダムから奥へ車を走らせると、前日の雨で水量が増えていたため、ダム湖の砂地は水に隠れたものの、ところどころ、砂地と草が現れていました。

当初一〇〇年で五五〇万立方メートルと見積もっていた土砂の堆積が、十四年目ですでに一六三〇万立方メートルに達しています。ダム管理事務所の担当者に、そのことについて、考えを聞くと、「二〇〇三年八月の予想を超える集中豪雨によって土砂がたまりましたが、これからは、たまりません」と。一緒に来ていた菊地日出男日高町議は「この三年で三〇〇万立法メートルも増えている」と指摘すると、答えられません。現に目の前に砂はたまっているのに、否定するとは！

アイヌの聖地があるのに、川をせき止めて無理やりダムを作った理由は、苫小牧東部開発に際して、工業用水を取る目的でした。ところが、苫東開発計画は破綻し、工業用水はいらなくなった。すると目的を「治水・利水の多目的ダム」として、計画を続行し、この上流に平取ダムを建設しようというのです。管理事務所の担当者は、新人に変わっていました。過去の経過もどこまで知っているのか、自信なさそうに説明します。

民主党政権で凍結されて止っていたけれど、また動き出しました。こんなでたらめな計画はきっぱりやめさせなければなりません。